

第一経大論集

第 13 卷 総目次

第 13 卷

第 1 号

昭和58年6月30日発行

<論 説>

1. 国民経済の交互作用（Ⅱ）
— 2つの国際価値論争— ……………甲斐原 一 朗
1. IMF サーベイランスの発展と国内金融政策の独立性
— 沿革的視点におけるアプローチ— ……………戸 波 徹 雄
1. 戦略経営と情報システム（2）
— 接合のための試論的フレームワーク— ……………田 辺 龍 輔
1. 憲法と比例代表制についての覚え書
— 参議院全国区改革より— ……………森 田 友 喜
1. 英語学習上の誤りに関する分析的研究
— 時制の用法についての一考察— ……………徳 永 賢 三

<資 料>

1. ウィリアム・アーヴィン著
ウォルター・パジョット（8） ……………訳 渡 辺 弘 子
立 川 順

第 2・3 合併号

昭和58年12月31日発行

<論 説>

1. 米国銀行における信用調書の一様式とその書き方について
……………栗 原 茂
1. IMF サーベイランスの発展と国内金融政策の独立性
— 沿革的視点におけるアプローチ（続）— ……………戸 波 徹 雄

<研究ノート>

1. 佐々野「アメリカ制度学派研究序説」へのノート
— 経済学とは何だろうか— ……………甲斐原 一 朗
1. ‘呪われた血’の叛逆詩人（5） ……………楠 本 哲 夫
1. 今日の日本に於ける英語教育に関する研究ノート
……………徳 永 賢 三

<資 料>

1. 制度主義の背景 (1)
—ドーフマンの所論にそくして— ……………佐々野 謙 治
1. ウィリアム・アーヴィン著
ウォルター・バジヨット (9) ……………訳 渡 辺 弘
立 川 順 子
1. 英文戯曲「アレックスの愛」 ……………作 真 崎 良 幸

<論 説>

1. 古代における自然の開発と信仰について ……………田 中 正 日 子
1. 萩原朔太郎ノート
「日本への回帰」をめぐって ……………山 本 哲 也

第 4 号

昭和59年3月31日発行

<論 説>

1. 「アネリーダとアルシーテ」
—チョーサーの人間理解について— ……………西 田 栄 毅

<研究ノート>

1. ‘呪われた血’の叛逆詩人 (6) ……………楠 本 哲 夫
1. 国際関係論の1980年代に臨むアプローチの構築
International Regime
—Stephen D. Krarner ed. 論文集
International Regimes 1983 に見られる論点について—
……………戸 波 徹 雄
1. 19世紀における言語病理学者についての一研究ノート
—言語と脳機能の関連性について— ……………徳 永 賢 三

<資 料>

1. 制度主義の背景 (2)
—ドーフマンの所論にそくして— ……………佐々野 謙 治
1. ウィリアム・アーヴィン著
ウォルター・バジヨット (10) ……………訳 渡 辺 弘
立 川 順 子
1. 英文創作「韓国に架ける橋」 ……………作 真 崎 良 幸